

私は、政清会を代表いたしまして、議案第1号から議案第6号までの議案6件、令和7年度一般会計予算、各特別会計予算並びに水道事業会計予算及び下水道事業会計予算の全てに賛成する立場で討論いたします。

令和7年度一般会計予算について歳入から申し上げますと、市税が定額減税の減収分の復元や物流施設の新設等に伴い対前年度当初予算比約15億6,100万円の大増となっておりますが、定額減税の減収補填に係る地方特例交付金や普通交付税が減収見込みとなり、臨時財政対策債については、平成13年度の制度創設以来、初めて新規発行額がゼロとなったことから、市税等の一般財源総額ではそこまで大きく伸びていない状況となっております。

一方の歳出においては、引き続き社会保障関係費が大きく伸びていることに加え、物価の高騰等により物件費をはじめとした経常経費が大幅に増加していることから、必要な一般財源の確保が非常に厳しい状況が続いております。さらに、学校給食センター整備事業や中学校体育館空調設備設置事業、(仮称)関宿スポーツフィールド整備事業など大規模な事業が集中したことで普通建設事業費が大幅に増加しております。このような中においても、市債発行総額を公債費の元金償還額以内に収め、市債残高を減少させていることに加え、必要最低限の財政調整基金の取崩しにより収支均衡を図り、予算編成を行っていることを評価いたします。

歳出について申し上げますと、まず各費目において、市制施行75周年記念事業費を計上しており、これまでの野田市の歩みを振り返るとともに、次の100周年に向けて新たな一步を踏み出す事業が実施されますので、我々も一丸となって盛り上げていきたいと思っております。

総務費では、若い世代の移住定住の促進を図るため、奨学金返還支援事業費が新規計上されているほか、市民課等の窓口における申請書自動作成支援システムや電子決済システム等の導入経費が新規計上され、自治体DXが推進されております。

民生費では、犯罪被害者等見舞金を新規計上しているほか、障がい者

の日常生活用具給付等事業費及び訪問入浴サービス事業費を拡充しております。また、介護人材確保対策として、介護支援専門員等の研修受講料等助成金及び処遇改善事業補助金を新規計上していることを評価いたします。

衛生費では、健康・スポーツポイント事業にのだ健康・スポーツアプリが導入され、健康づくりやスポーツにより取り組みやすい環境整備を行っていることを評価いたします。

土木費では、連続立体交差事業及びその関連事業である野田市駅西土地区画整理事業、愛宕駅東口駅前広場等整備事業など、野田市の顔となる駅前整備の進捗が図られるとともに、関宿北部地区の工業団地整備に係る事業調査委託料など、今後の野田市のまちづくりに資する事業も計上されております。

消防費では、近年頻発化、激甚化する大規模自然災害の発生に備えて、自主防災組織等の防災士資格取得費用助成金、総合防災システム及び千葉県被災者支援システムの導入経費が新規計上され、災害対応力の向上が図られていることを評価いたします。

教育費では、8年度までの継続事業として給食センター整備事業が計上されているほか、残る中学校 11 校のトイレ洋式化を、7年度からの2か年で実施するため、中学校 6 校の設計委託料が計上されており、子供たちから要望の多い学校トイレの洋式化が加速されていることを評価いたします。また、SAN-POW スタジアム野田（総合公園野球場）改修工事や（仮称）関宿スポーツフィールド整備費などスポーツ環境整備事業が計上されているほか、指定避難所となっている中学校 5 校の体育館空調設備設置工事が新規計上され、避難所の環境改善を進めていることを評価いたします。

以上、主なものを取り上げましたが、令和 7 年度一般会計予算は総額 601 億 4,700 万円で過去最大を大きく更新する予算規模となり、必要な一般財源の確保が非常に厳しい中、全庁を挙げた新たな財源確保やゼロベースでの事業見直しを継続することにより、元気で明るい家庭を築ける野田市の実現に向けた施策を可能な限り盛り込んだ適切な予算であ

ると評価いたします。

また、国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療の各特別会計予算並びに水道事業会計予算及び下水道事業会計予算についても、それぞれの目的に沿った適切な予算措置がなされていると評価いたします。

また、国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療の各特別会計予算並びに水道会計予算及び下水道事業会計予算についても、それぞれの目的に沿った適切な予算措置がなされていると評価いたします。

以上のとおり、私は令和7年度一般会計予算ほか全ての予算に賛成いたします。